クイズの答え

Q.1

打った球が転がった先、近くにサボテンが。次に打とうとしたらトゲが刺さりそう！

このときやっていい対処はどれ？

C. 自分の体に保護用の服を着る

サボテンはコース上の状況とみなされます。そのため、仮に危ない状況でも球をほかの場所へ移すことは認められません。
また、サボテンにタオルを巻いて保護しようとすると、「ストローク（クラブを振る行為）に影響を及ぼす状態の改善」をしたとみなされ、違反となってしまいます。
一方で、体にタオルを巻くといった、自分自身に保護用の服などを身に着ける行為はルール上問題ありません。
ちなみに、サボテンが生えたコースとしてはアメリカのTPCスコッツデール・スタジアムコースが有名です。過去には松山英樹さんがサボテンの後ろからショットする、といった出来事もありました。

Q.2

打った球が空中で2つに割れた！ 次に打つ場所はどこ？

A. 先ほど打ったのと同じ位置

基本的にゴルフでは、同じホール中に球を勝手に変えるのは禁止となっています。しかし、球がストローク後に複数に割れてしまった場合、そのストロークはノーカウントとなり、同じ場所から別の球でプレーすることができます。
ちなみに、問題の状況のほか、球にひびが入っている、打った球がどこに飛んだか見つからない、異常な位置にある球を動かす（救済を受ける）といった場合にのみ、取り換えることが可能です。
「2つに割って軽くして、球の飛距離を伸ばすんだ！」みたいなアニメ的展開はできません、残念……。

Q.3

打った球が、フェアウェイ中にあるモグラの穴にすっぽりホールイン！
このときの裁定はどうなる？

B のペナルティなしで穴の外に出せる
モグラなどが掘った動物の穴は異常なコース状態として扱われます。
異常なコース状態によってプレーに支障をきたす場合、罰なしで球の位置を動かせます。
ただし、基本的に動かせる範囲は「球がもとあった位置よりもホールに近づかないかつ、その位置からクラブ1本分の距離以内の位置」と決まっています。
また、穴の近くに掘り出された砂があっても、プレー状態を改善するために取り除くことはできないので、注意が必要です

Q.4

1打目で球はグリーンの近くで止まった。このとき、止まっているボールが突風によりカップイン！ このときの裁定はどうなる？

Aの1打でカップイン（ホールインワン）
風などの自然の力で止まっている球が動いた場合、それによる罰はなく、
かつ動いたあとの新しい位置からプレーを再開できます。つまり、問題のような状況では
1打でカップイン、つまりホールインワンとなります！
でも、もし実際にこの状況が起きたとして、100%で喜べるかな……？

Q.5

球の近くに熊が出た！ このとき、球はほかの場所に動かせる？

答えは〇

近くに熊がおり、そのままの状態だとプレイヤーが重傷を負う可能性があるときは「危険な動物の状態」と扱われます。
その場合、球を別の位置に動かすことができます。
ほかにも、毒ヘビ、蜂、ワニ、ヒアリなどが球の近くにいる場合にも、「危険な動物の状態」となります。ただし、先の問題で出てきたサボテンなど、身体に危害を及ぼすものでもそれがコース上の状況である場合、この状態は適用されません。
……って、プレーする前にまずは安全を確保してくれ！